

事業別内訳書

<一般会計>

(単位:千円)

事業名	事業費	左の財源内訳		事業内容	備考
		特定財源	一般財源		
教育費					
学校給食業務費	5,013		5,013	食材価格の高騰に伴う学校給食の賄材料費の増 当初予算 ① 700,481千円 実績見込 ② 705,494千円 補正額 ②-① 5,013千円	

## 給食費の改定について（諮問） 審議資料

### <審議日程>

#### 1回目 11月8日 諮問・審議

○諮問内容説明

○審議内容

- 1 学校給食の意義・役割
- 2 学校給食の実施状況
- 3 給食を提供するために必要な経費
- 4 食材の調達方法
- 5 給食費と賄材料費の現状

#### 2回目 12月21日 審議

○前回のご意見の確認

○審議内容

- 6 給食費の考え方
- 7 給食提供日数

○答申のまとめの方向性の確認

#### 3回目 1月中旬～下旬 審議

○前回のご意見の確認

○審議内容

- 8 答申（案）

<配付資料一覧>

○1回目 11月8日配付資料

・資料1	給食を提供するために必要な経費	1
・資料2	食材調達と地産地消の考え方	2
・資料3	地産地消と地場産野菜の導入状況	4
・資料4	1人1日当たり給食費の推移、賄材料費の推移、基準日数の推移…	5
・資料5	賄材料費の現状	6
・資料6	帯広市の学校給食	7
・資料7	学校給食摂取基準	19
・資料8	帯広市学校給食センター条例	20
・資料9	帯広市学校給食センター条例施行規則	23

○2回目 12月21日配付資料

・資料10	第2回運営委員会 主なご意見・ご質問の内容	1
・資料11	給食費の推移	3
・資料12	児童手当を含む給食費収納率の推移	4
・資料13	令和5年度道内主要都市の学校給食費について	5
・資料14	主食費の現状について	6
・資料15	1人当たり賄材料費の推移	9
・資料16	賄材料費の削減に向けた方向性	10
・資料17	年間給食日数調	11

令和5年度 第2回 帯広市学校給食センター運営委員会  
 主なご意見・ご質問の内容

〔令和5年11月8日（水）開催〕

- 1 学校給食の意義・役割
- 2 学校給食の実施状況
- 3 学校給食を提供するために必要な経費
- 4 食材の調達方法

〔関連資料～資料2及び資料3〕

主なご意見・ご質問	事務局説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食に地場産食材をたくさん使用していることについて、(児童生徒や保護者へ) どのように周知しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だよりや食育通信などでの周知のほか、おびひろ市民学などの授業で栄養教諭などが地場産食材の活用にかかる取組を伝えている。本年4月からジョルテの学校給食カレンダーで献立や食材の紹介も行っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的には食育通信をあまり見ていない。内容は良いと思うのだが、もっと地産地消の取組についてわかりやすくPRしたほうが効果的ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見について参考にさせていただく。</li> </ul>

- 5 給食費と賄材料費の現状

〔関連資料～資料4及び資料5〕

主なご意見・ご質問	事務局説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純に主食に関して米飯の提供単価が安いのであれば、麺やパンの提供回数を2週に1回とするなど、少しでも給食費の節減に繋げることができないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立の提供にかかる現状のほか、パンや麺の提供回数等の見直しによるコスト削減が可能かについて検討を行い、次回説明する。 【資料16】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦の単価はパンなどの使用割合で価格を出しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純に小麦単価の経年の比較となっており、製麺会社や製パン工場で加工する際の加工賃は含まれていない。パンや麺の提供コストがわかる資料を次回用意する。 【資料14】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回改定した際の主食等の値上がりの状況についてもお知らせいただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回資料を用意する。 【資料15】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材にかかる費用は原則給食費で賄うとのことだが、昨年度の新型コロナの交付金については恒常的に財源として見込めるものではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時交付金についてはあくまで一時的なもので恒常的なものとは考えていない。基本的には食材単価は原則給食費で賄う制度となっているが、小規模の自治体では無償化しているところもあるなど自治体の裁量もあると認識している。</li> </ul>

主なご意見・ご質問	事務局説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費が改定になると、就学援助を受けている児童生徒の負担も増えるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費が改定になったとしても対象となる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>改定に向けて現時点で想定している改定額はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不足する給食費は小学校で29円、中学校で36円と見込んでいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>コストが上昇する部分と、可能な限りコストダウンできる部分があればお示しいただき、最終的にこれくらいになるという資料を提供いただければより納得感が高まると考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回資料を用意する。</li> <li>【資料16】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費負担の観点から、理由があつて牛乳を飲めない児童生徒には牛乳を出さない選択肢があるとありがたいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギー等により牛乳が飲めない児童生徒には代替飲料を提供しており、給食費を減額したいという理由で、牛乳を提供しないことにはならないと考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費が上がれば更に未納者が増えるのではないか。未納者の件数や未納の原因がわかる資料について提供をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回資料を用意する。</li> <li>【資料12】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>バイキング給食は続けてほしいが、もうやらないということなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイキング給食については中学校が休みの日に小学校6年生を対象に実施してきたところ。授業日数の増などにより、中学校の調理ラインを小学校向けに使用できる日数が減少し、調理体制が整わないことから、今後も実施することは難しいと考えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基準日数については、小学1年生や中学3年生は195日になっていない学年もあるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の改定などにより現状195日以上給食を提供している実態がある。学年ごとに日数を分けることで、食費を徴収する学校側の負担増に繋がるため、基準日数を統一し、9年間で日数を満たすように設定している。</li> </ul>

○給食費の推移

(単位：円)

改定年度	小学校					中学校					備考		
	1食単価	給食日数	年間給食費	改定額	改定前対比	1食単価	給食日数	年間給食費	改定額	改定前対比			
S40.4	25.00	200	5,000	-	-	33.00	200	6,600	-	-			
S41.4	30.00		6,000	5.00	120.00	37.00		7,400	4.00	112.12			
S43.4	37.00		7,400	7.00	123.33	47.00		9,400	10.00	127.03			
S47.4	50.00		10,000	13.00	135.14	65.00		13,000	18.00	138.30			
S49.7	50.00	57	2,850	0.00	100.00	65.00	57	3,705	0.00	100.00	4~6月まで据置		
	* 70.00	133	* 9,310	20.00	* 140.00	* 90.00	133	* 11,970	25.00	* 138.46	1食6円市補助		
	64.00		8,512	14.00	128.00	84.00		11,172	19.00	129.23			
	年額		11,362	-	113.62	年額		14,877	-	114.44			
S50.7	* 101.00	190	* 19,190	31.00	* 144.29	* 126.00	190	* 23,940	36.00	* 140.00	同上		
	95.00		18,050	31.00	148.44	120.00		22,800	36.00	142.86			
S52.4	* 116.00		* 22,040	15.00	* 114.85	* 146.00		* 27,740	20.00	* 115.87	同上		
	110.00		20,900	15.00	115.79	140.00		26,600	20.00	116.67			
S55.4	* 140.00		* 26,600	24.00	* 120.69	* 176.00		* 33,440	30.00	* 120.55	同上		
	134.00		25,460	24.00	121.82	170.00		32,300	30.00	121.43			
S58.4	* 165.00		* 31,350	25.00	* 117.86	* 208.00		* 39,520	32.00	* 118.18	同上		
	159.00		30,210	25.00	118.66	202.00		38,380	32.00	118.82			
S63.4	165.00		31,350	6.00	103.77	208.00		39,520	6.00	102.97	小額補助カット		
H1.4~消費税3%導入													
H3.4	* 171.60		* 32,604	6.60	* 104.00	* 216.30		* 41,097	8.30	* 103.99	給食費凍結 差額分市補助		
	165.00		31,350	0.00	100.00	208.00		39,520	0.00	100.00			
H4.4	* 177.00		* 33,630	5.40	* 103.15	* 223.20		* 42,408	6.90	* 103.19	同上		
	165.00		31,350	0.00	100.00	208.00		39,520	0.00	100.00			
H5.4	* 180.50	* 34,295	3.50	* 101.98	* 227.60	* 43,244	4.40	* 101.97	同上				
	165.00	31,350	0.00	100.00	208.00	39,520	0.00	100.00					
H7.4	192.00	36,480	27.00	116.36	242.00	45,980	34.00	116.35					
H9.4~消費税5%導入													
H9.4	195.00	37,050	3.00	101.56	246.00	46,740	4.00	101.65					
H21.4	224.00	42,560	29.00	114.87	278.00	52,820	32.00	113.01	食材高騰分改定				
H26.4~消費税8%導入													
H26.4	230.00	43,700	6.00	102.68	285.00	54,150	7.00	102.52	消費税分改定				
R元.4	235.00	195	45,825	5.00	102.17	291.00	195	56,745	6.00	102.11	食材高騰分改定		

【給食費等の変遷】

- 1 S49~62年の小額補助(6円)は牛乳の5.80円相当分として児童、生徒、教員に補助
- 2 S63年補助カットに伴い、S63年、H1年に食缶、H2年に焼き機、H3年にお椀、H4年に皿を改善
- 3 H3年市長公約に伴い児童、生徒のみ給食費を凍結
- 4 H9年米飯2.5回/週から3回/週へ
- 5 R4及びR5は給食費を改定せず食材高騰分を一般会計より支援

3

# 児童手当を含む給食費収納率の推移

資料12

単位：円

年度		決算（5月までの収入による実績）						決算（6月児童手当分を含む）			
		調定額	収入額	不納欠損額	滞納繰越額	滞納世帯数	収納率	収入額	滞納繰越額	世帯数	収納率
現年度	令和元年度	602,880,771	596,861,452		6,019,319	403	99.00%	598,039,808	4,840,963	147	99.20%
	令和2年度	621,807,361	615,315,020		6,492,341	404	98.96%	617,821,153	3,986,208	94	99.36%
	令和3年度	628,562,796	622,384,881		6,177,915	444	99.02%	625,321,816	3,240,980	85	99.48%
	令和4年度	611,296,514	605,605,495		5,691,019	457	99.07%	608,368,116	2,928,398	67	99.52%
過年度	令和元年度	33,712,908	8,527,853	852,172	24,332,883		25.30%				
	令和2年度	30,352,202	6,221,396	1,424,882	22,705,924		20.50%				
	令和3年度	29,198,265	6,342,265	1,009,530	21,846,470		21.72%				
	令和4年度	28,024,385	6,203,322	1,242,667	20,578,396		22.14%				

# 令和5年度道内主要都市の給食費について

資料13

帯広市学校給食センター調べ

自治体名	公会計 私会計	1食あたり 給食費		1食あたり 市負担
		小学校	中学校	
旭川市	私会計	小学校	300	27.84
		中学校	360	28.42
江別市	私会計	小学校	289～295	26
		中学校	351	26
北見市	公会計	小学校	295	110
		中学校	325	30
小樽市	私会計	小学校	281.94～288.74	22.56～32.11
		中学校	347.41	27.8
札幌市	公会計	小学校	269～277	34～35
		中学校	328	42
苫小牧市	私会計	小学校	271	-
		中学校	316	-
石狩市	公会計	小学校	253～266	14
		中学校	326	18
釧路市	私会計	小学校	263	14
		中学校	313	17
函館市	私会計	小学校	250.36	42
		中学校	319.39	49
帯広市 (現行)	公会計	小学校	235	27.18
		中学校	291	31.4



# 主食費の現状について①

## パン

本市では帯広産小麦の「きたほなみ」50%、と「ゆめちから」50%を使用したパンを提供しており、その原料となる小麦粉は北海道学校給食会から購入しています。

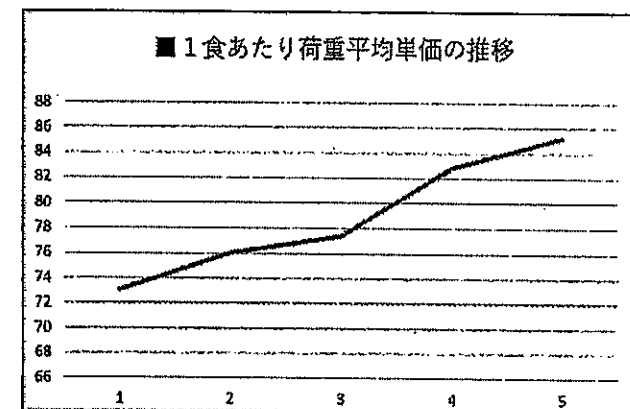
麺単価 = 原材料等 + 加工賃 + 特殊加工賃 + 包装代 + 輸送費

### ■パン単価の推移 (50g)

区 分	単位：円						
	R1	R2	R3	R4	R5	R5-R1	増減率
基準パン (コッペパン)	66.37	69.19	70.39	75.66	78.59	12.22	18.4%
バターパン (丸加工)	75.27	78.09	79.29	85.81	89.85	14.58	19.4%
ミルクパン	75.41	78.68	79.88	85.34	88.99	13.58	18.0%
ブランパン (丸加工)	-	72.32	73.52	78.79	82.26	9.94	13.7%
荷重平均単価	73.05	75.98	77.37	82.8	85.22	12.17	16.7%

※1 ブランパンは令和2年度より提供

■1食あたり荷重平均単価の推移



# 主食費の現状について②

## 麺

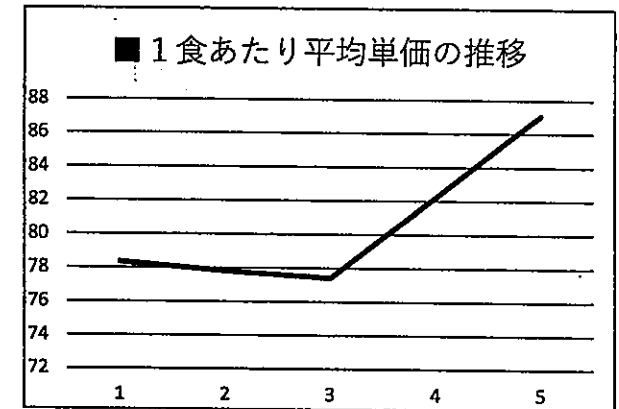
本市では帯広産小麦の「きたほなみ」50%、と「ゆめちから」50%を使用した麺を提供しており（うどんはきたほなみのみを使用）、その原料となる小麦粉は北海道学校給食会から購入しています。

麺単価 = 原材料等 + 加工賃 + 包装代 + 輸送費

■ 麺単価の推移（中学生）

単位：円

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R5-R1	増減率
うどん (250g)	91.26	90.72	90.18	95.72	100.71	9.45	10.4%
ラーメン (240g)	94.65	94.13	94.26	100.44	105.53	10.88	11.5%
やきそば麺 (240g)	94.65	94.13	94.26	100.44	106.61	11.96	12.6%
パスタ (200g)	92.23	91.8	91.36	96.22	101.08	9.28	10.1%
荷重平均単価	78.36	77.84	77.43	82.22	87.07	8.71	11.1%



# 主食費の現状について③

## 米飯

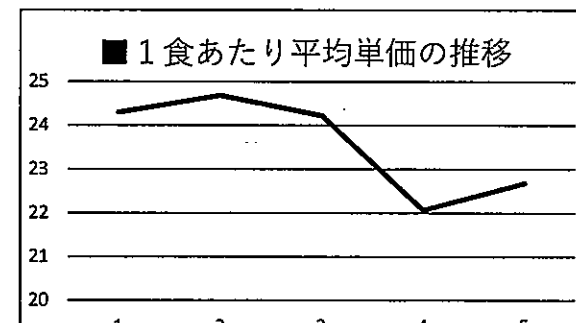
本市では北海道産ななつぼしのイエスクリーン米を使用しており、センターで炊飯を行っています。米は全量を北海道学校給食会から購入しております。

$$\text{単価} = \text{精米代} + \text{輸送費}$$

■米飯単価の推移

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R5-R1	増減率
ななつぼし	3,337.20	3,391.20	3,326.40	3,024.00	3,110.40	-226.80	-6.8%
ななつぼしイエスクリーン米	3,402.00	3,456.00	3,391.20	3,088.80	3,175.20	-226.8	-6.7%
荷重平均単価	24.3	24.69	24.23	22.07	22.68	-1.62	-6.7%

単位：円



# 1人当たり賄材料費の推移

資料15

(単位:円)

区分	内訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度-平成27年度	
						増減額	増減率
小学校	①主食	40.69	41.04	41.75	44.16	3.47	8.53%
	米飯	20.22	20.84	21.92	24.08	3.86	19.09%
	パン	69.66	69.04	70.02	72.38	2.72	3.90%
	麺	73.14	73.63	72.98	76.17	3.03	4.14%
	②牛乳	43.90	45.17	45.46	45.78	1.88	4.28%
	③副食	145.41	143.79	142.79	140.06	△ 5.35	△ 3.68%
	合計	230.00	230.00	230.00	230.00	0.00	0.00%
中学校	①主食	50.94	51.89	52.45	55.74	4.80	9.42%
	米飯	28.89	29.77	31.31	34.40	5.51	19.07%
	パン	80.52	81.90	80.88	84.41	3.89	4.83%
	麺	87.52	88.22	87.46	91.08	3.56	4.07%
	②牛乳	43.90	45.17	45.46	45.78	1.88	4.28%
	③副食	190.16	187.94	187.09	183.48	△ 6.68	△ 3.51%
	合計	285.00	285.00	285.00	285.00	0.00	0.00%

## 賄材料費の削減に向けた方向性

### 1 パン・麺から米飯への変更について

前回のご意見を踏まえ、主食の変更による賄材料費の削減が可能な検討したものを。

標準的献立における1食あたり単価

献立/区分	小学校	中学校
米飯（週3回）	269.30	339.30
主食	22.68	32.40
牛乳	54.03	54.03
副食（肉じゃがなど）	192.59	252.87
パン（週1回）	295.30	363.43
主食	88.99	106.52
牛乳	54.03	54.03
副食（ココロチキなど）	152.28	202.88
麺（週1回）	219.49	263.84
主食	85.73	105.54
牛乳	54.03	54.03
副食（大根ナムル）	79.73	104.27

1食あたりの献立で考えると  
パン > 米飯 > 麺  
→ パン・米飯・・・主菜・副菜  
  麺・・・副菜のみ

パン→米飯 変更による賄材料費削減額

小学校	中学校	1回変更時の削減額
26.00	24.13	約30万円

パン→麺 変更による賄材料費削減額

小学校	中学校	1回変更時の削減額
75.81	99.59	約90万円

パン・麺から米飯への変更に係る課題

	月	火	水	木	金
小学校A	飯	めん	飯	パン	飯
小学校B	飯	飯	パン	飯	めん
中学校	パン	飯	飯	めん	飯

給食センターの炊飯ラインは2つ  
木曜日しか炊飯ラインの余裕なし

米飯を増やす場合、曜日固定が出来ず、イレギュラーな提供日となる

献立の栄養価の管理が更に複雑になることや調理工程など現場での作業の調整も複雑になるほか、パン・麺の委託業者との協議等、様々な課題があるため、運用の中で検討していく。

### 2 麺契約の見直し

麺について、本市の提供数及び基準を満たす新たな製麺業者が出てきたため、比較検討中である。複数業者による競争入札により、賄材料費の削減が見込まれる。

### 3 賄材料費の削減額

上記1、2の取り組みにより、約500万円の賄材料費の削減ができる見込みである。

### 4 1食あたり賄材料費の削減額

1食あたり賄材料費に換算すると、約2円の削減が可能である。

(単位：円)

区分	令和元年度 ①	令和5年度 見込（諮問）②	削減後見込 ③	差 ③-②
小学校	235.00	264.44	262.51	△ 1.93
中学校	291.00	327.05	325.07	△ 1.98

↓ 端数切捨

改定案 ④	令和元年度対比 ④-①、④/①	
262	27	111.49%
325	34	111.68%

## ○年間給食日数調べ(令和5年度)

## ※学校給食センター調べ

## ○授業日数の推移(学校教育指導室調べ)

資料17

## 〈小学校〉

授業日数	206日 ① ※前回改定時205日
入学式1日、運動会振替1日、卒業式1日	3日 ② ※前回改定時3日
給食提供日数	203日 A(①-②)
各学年共通行事による給食不要日数	2日 B
開校記念日	1日
遠足	1日
1年生 入学式後の4日間	4日 C
1~5年生 バス学習	1日 D
5年生 宿泊研修	1日 E
6年生 修学旅行	3日 F
給食日数	
1年生	196日 A-(B+C+D)
2~4年生	200日 A-(B+D)
5年生	199日 A-(B+D+E)
6年生	198日 A-(B+F)
平均	198日

## 〈中学校〉

授業日数	206日 ① ※前回改定時206日
体育祭振替1日、文化祭振替1日、卒業式1日	3日 ② ※前回改定時5日
給食提供日数	203日 A(①-②)
各学年共通行事による給食不要日数	1日 B
開校記念日	1日
2年生 自然体験学習	1日 C
3年生 修学旅行(4~5日)	4日 D
3年生 卒業式後の4日間	4日 E
実給食日数	
1年生	202日 A-B
2年生	201日 A-(B+C)
3年生	194日 A-(B+D+E)
平均	199日

## 〈小学校〉

R01	(授業日数204日) ※コロナ休校18日
R02	(授業日数208日) ※コロナ休校27日、夏休み・冬休み授業16日
R03	(授業日数207日)
R04	(授業日数206日)
R05	(授業日数206日)
R06	(授業日数206日)

## 〈中学校〉

R01	(授業日数204日) ※コロナ一斉休校18日
R02	(授業日数208日) ※コロナ休校27日、夏休み・冬休み授業16日
R03	(授業日数207日)
R04	(授業日数206日)
R05	(授業日数206日)
R06	(授業日数206日)

(注)中学校の体育祭と文化祭の振替について、令和5年度以降各1日減となっている。